

## 優秀賞

### 自然の声に心をゆだねて

岩出第二中学校 1年 岩倉 琴音

私には、心が疲れたときに思い出す、とっておきの場所があります。それは、祖母の家の近くにある林です。たくさんのお木々に囲まれた場所には、いつも変わらずに鳥のさえずりが響いています。その音に、私は何度も助けられました。

中学生になってから、私は色々なことで悩むようになりました。友達関係、成績のこと、将来のことなど色々な悩みが私の心の中にあります。どうしてかはわからないけれど苦しくなることがありました。そんな時、ふと思い出すのが、あの林で聞いた鳥達の声です。小学生のころ、私は夏休みに祖母の家に泊まりに行くのが大好きでした。祖母の家は山のふもとにあり、朝になると、窓の外から「ピピピ。」「ホーホケキョ。」ドラムのような「ドドドド。」と鳴く鳥達のにぎやかな声が聞こえてきます。最初は、「鳥が鳴いているんだなあ。」としか思っていなかったのです。でもある朝、ふと目を閉じてその声を聞いてみるとまるで小さなコンサートのように思えてきたのです。高い声、低い声、ゆっくりした声、はずむような声。それぞれの鳥達が、自分のリズムで歌っているようでした。私はじっと座って、何も考えずに耳をすませてみました。すると、不思議と心がすーっと落ち着いていくのを感じました。自然の音には、人の心を落ち着かせる力があるのだとその時感じました。誰かの言葉でも音楽でもない、ただそこにある音。鳥達は人の心をいやそうと思ってないかもしれません。それでも、私はその声に何度も心を救われた気がするのです。

今も私は、学校や人間関係で悩むことがあります。そんなとき、祖母の家の林を目を閉じて思い出すのです。耳の奥で鳥の声を再生してみるのです。「ピピピ。」「チュンチュン。」「ホーホケキョ。」……。その声を思い浮かべると、少しだけ自分に戻れる気がします。イライラした心が落ちついてくるのです。「大丈夫。あなたはあなたのままでいいんだよ。」自然は何も変わらずそこにあります。鳥達の声がそっと語りかけてくれるように感じました。

この間、久しぶりに祖母の家を訪れました。鳥達の声も変わらず響いていました。私はうれしさとなつかしさでいっぱいになりました。私は林の中に入り、木にもたれて、深呼吸をしました。すると、今まで張りつめていた心の糸が少しずつほどけていくのを感じました。そこで私は気づいたのです。自然は、私達に何も求めないけれど、いつも私達を受け入れてくれているということに気づきました。そして、自然の声に耳をすませることで自分の心の声にも気づくことができたのです。本当に自然は何も言わずに、私達の心に優しさといやしをくれているのです。

今、世界では自然が失われつつあると言われています。でも、私にとって自然は、ただの風景や空気ではありません。心が迷ったとき、静かに寄りそってくれる大切な存在なのです。これからも大人になって、つらいことがあるかも知れませんが、でも私は、祖母の家のそばの林、そして鳥達の声を忘れずにいたいと思います。そして、私も自然のように誰かの心にそっと寄りそえる人になりたいと思います。